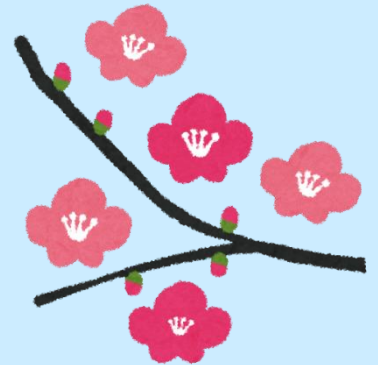


避難者と支援者による

第4回



ふれあい フェスティバル 報告書



主催：広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会

あいさつ

東日本大震災から8年が経ちましたが、避難生活を余儀なくされている方々は全国で約5万2,000人（復興庁：2019年2月）となっています。そのうち都内に広域避難されている方々は4,623名（東京都：2019年2月）。広域避難では最も多く避難されているのが東京都となっています。

避難者を取り巻く課題は大きく動いています。こうしたなか、避難者同士だけでなく避難者と支援者がつながり、避難者支援の取組みを進めていく必要が出てきています。

今年度のふれあいフェスティバルは、昨年9

月に実施を予定していましたが、台風に伴う悪天候のため、やむなく中止とし、今回、3月に実施することができました。それにも関わらず、今回も都内外から多くの避難者、また、支援者の方にご参加頂くことができました。

開催にあたり、本当に多くの皆様からご支援を頂きました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

2019年3月

広域避難者支援連絡会 in 東京
広域避難者交流会 実行委員会

概要

タイトル 避難者と支援者による ふれあいフェスティバル

日時 2019年3月17日（日）10時30分～15時30分

場所 飯田橋セントラルプラザ 12階・10階・1階（新宿区神楽河岸1-1）

参加者 275名（うち、避難者149名）

※避難者への周知は、各当事者団体を通しての呼びかけとともに東京都都内避難者支援課が実施する「定期便」での発送や各区市町村行政、支援団体からの情報提供等により行いました。また、他県については、県域の支援団体から個別の避難者に情報提供頂きました。

主催 広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会

（実行委員メンバー）青空会、コスモス会、鷺宮都営住宅自治会、東雲の会、ふるさとを想う会、NPO法人とみおか子ども未来ネットワーク、みちのくまほろば会、むさしのスマイル、かながわ東北ふるさと・つなぐ会、双葉町埼玉自治会、広域避難者支援連絡会 in 東京

（広域避難者支援連絡会 in 東京 参加団体）荒川区社会福祉協議会、いたばし総合ボランティアセンター、AAR Japan[難民を助ける会]、NPO法人こどもプロジェクト、金光教首都圏災害ボランティア支援機構、災害復興まちづくり支援機構、全労済、中央労働金庫、東京足湯プロジェクト、東京災害ボランティアネットワーク、東京都生活協同組合連合会、東京ボランティア・市民活動センター、東京労働者福祉協議会、連合東京

実行委員長 後藤恭子（みちのくまほろば会）

副実行委員長 木幡四郎（ふるさとを想う会）、関根仁美（鷺宮都営住宅自治会）

後援 福島県、宮城県、岩手県、東京都

開会式

- (1) 実行委員長 挨拶（みちのく まほろば会 後藤恭子）
- (2) 各首長からのメッセージ
福島県知事 内堀雅雄氏からのメッセージ（代読：福島県避難地域復興局避難者支援課課長 深谷一夫氏）
宮城県知事 村井嘉浩氏からのメッセージ（代読：宮城県東京事務所 島田憲一氏）
岩手県知事 達増拓也氏からのメッセージ（代読：広域避難者交流会 実行委員会）
- (3) 実行委員紹介

ステージ出演

ステージでは当事者団体3つ、支援団体3つの合計6つの出演団体がありました。

※ 1ステージに複数の団体が出展している場合があるため合計は合いません。

No	出演団体名	出演内容
1	東京都生活協同組合連合会	健康体操「スクエアステップ」
2	みちのく まほろば会 ウクレレ・フェローバンド	ウクレレの演奏（2回実施）
3	南京玉すだれ白戸流（しらとりゅう）「お江戸隊」	南京玉すだれ
4	ボランティアグループ SV 板橋	ハンドベル演奏
5	双葉町埼玉自治会・はなみずき婦人学級	ふたば音頭／東京音頭

なお、開会式・閉会式含め、ステージの司会は、避難当事者団体であるふるさとを想う会の木幡四郎と広域避難者支援連絡会 in 東京（荒川区社会福祉協議会）の桜木弘子が行いました。



実行委員長 後藤恭子（みちのく まほろば会）



ステージでのハンドベルの様子

ブース出展

本イベントでは当事者団体 6、支援団体 13、その他本部など合わせて 19 のブース出展があり、団体紹介や食事の提供、交流スペース、小物作り体験などさまざまな出し物がありました。

※ 1 ブースに複数の団体が出展している場合があるため合計は合いません。

No	出展団体名	出展内容
1	みちのく まほろば会	手作り小物・喜多方ラーメンの販売
2	かながわ東北ふるさと・つなぐ会	和布細工小物・袋物の販売
3	金光教	ポップコーン提供
4	フォトボイスプロジェクト	避難者の写真と声のパネル展示、写真集販売
5	コスモス会／青空会／ いたばし総合ボランティアセンター	手作り雑貨、手作りアクセサリー、はちみつ販売
6	ふるさとを想う会	キルトマット、小物販売
7	双葉町埼玉自治会	おこわ、切り餅、野菜、漬物販売
8	東京労働者福祉協議会	わらび座公演チケット受付
9	東京足湯プロジェクト	ほっと！足湯
10	東京都生活協同組合連合会	健康体操「スクエアステップ」
11	災害復興まちづくり支援機構	展示と専門家による何でも相談
12	臨床心理士	相談ブース
13	東京しごとセンター	就職相談
14	東京都 都内避難者支援課	都内避難者相談拠点出張相談
15	東京都医療社会事業協会	相談ブース
16	福島県 避難者支援課	福島県相談窓口
17	宮城県 東京事務所	相談ブース
18	実行委員会	避難者・避難者支援に関する展示
19	実行委員会	本部ブース

※12 階の会場に、ふれあいフェスティバルに参加した避難者や支援者のいまの想いを書いて貼り出す「メッセージボード」を設置しました。

※ブース No.18 の避難者・避難者支援に関する展示は、飯田橋セントラルプラザ 1 階の区境ホールで実施しました。



各ブースでは、手作り品や小物の販売が行われました。



双葉町埼玉自治会のブースでは、恒例の野菜の販売がありました。

実行委員や参加者の皆さんからの声

第4回 フェスティバル開催に当たって

みちのく まほろば会 後藤恭子

第4回フェスティバルは異例にも室内開催となりました。

9月小金井公園開催が台風と云うアクシデントに見舞われ突然の中止となり、関係各位に多大なご迷惑をおかけしてしまいました。申し訳ございませんでした。

今回は室内会場で小さいだけに凝縮されて参加数も例年の半数でしたが、盛り上がりが見えたようです。

交流会が目的ですから、それなりに良かったと思いますが、青空の下、自然の中で一般の方々を呼び込んでの開催と、室内で身内だけでの交流会との差は歴然とした様に感じました。

3・11の日から8年の月日が流れて避難生活者を取り巻く社会情勢が厳しくなっています。

「解除」という名目だけの復興にすぎないのに、故郷帰還に迫られて、悩み、不安、迷いを繰り返して相談する人もなく、日々を送る人々です。そんな時期での交流会は意味深い事だったと思いました。故郷言葉でのお喋りに、華が咲いたと感じました。反面舞台の方に目を向ける人達との差も多々あったようでした。

私も実行委員長の大役を申し付けられて、特別な事は出来ませんでした。皆様方のご協力を頂き、無事に盛会に終了出来た事でホッとして肩の荷を下ろしました。皆様のご協力に深謝申し上げます。

第4回 ふれあいフェスティバルに参加して

みちのく まほろば会 佐藤朋子

第4回ふれあいフェスティバル開催おめでとうございます。当日は天候に恵まれ、多数の参加者で賑わい、びっくりしました。

関係者の方々の挨拶に心うたれながらお聞きしました。まだまだ解決していないことが沢山あることを、改めて知らされました。

しかし皆様、前を向いて笑顔一杯でしたね。

とても嬉しいことです。頑張りましょうね…。

ブース店では双葉からお野菜と手作り作品、まほろば会の手作り品や各団体の作品販売など、とても興味津々でした。どの品もステキ！で、いっぱい購入しました、最高です！！

舞台でのウクレレ演奏、タマスダレ、ハンドベル、どれも素晴らしかったですよ！つい歌ったり、掛け声かけたりして本当に楽しい時間でした。

これからも課題は山積だと思います。私も目先だけで解決することなく、苦しんでいる避難している方々の心の苦しみを少しでも癒すことが出来るように一緒に活動して行きたいと思いました。今日は本当に素敵な楽しいひとときを！ありがとうございました。

次回を楽しみにしています。

出会い、別れそして 再会

鷺宮都営住宅自治会 関根仁美

昨年は台風のため、延期となったフェスティバルですが、室内での開催は良かったですね！

落ち着いて交流が出来ました。ステージは見る方も参加しているようで、皆さんの笑顔がすごく素敵！

そして、会いたい方にも探さずに会えました。中野から、他に移られた方と久しぶりに出会えて、本当に嬉しかったです。震災で出会えて、数年後、別れがあり、そしてフェスティバルでの再会！フェスティバルがなければ、再会は無かったですね！

これからも良い出会いがあることを願うばかりです。

避難者と支援者による

ふれあいフェスティバルに参加して

かながわ東北ふるさと・つなぐ会 今里雅之
天候により本年度は屋内開催となったふれあいフェスティバルでしたが、お隣さんが接近した状況で身近にお話ができ良かったと思います。今年は特に広域への対応をしていただき山梨・茨城の人達とも発災以来の出会いで違った雰囲気の様子を伺うことが出来ました。

東北大震災・東電原発から約8年、ふるさとの友人・知人を求め語り合い、久方ぶりの出会いに心を弾ませ感動と喜びでした。そんな中、福島県では2年前に多くの地域が帰還解除となったものの帰還された方は少数で、多くの方がふるさとへの思いはあっても色々な生活環境・健康不安・教育・福祉などで当面は避難先にとどまるというのが多くの考えのようで、それぞれに違った家庭環境など複雑な意見も聞く事ができ懐かしく・楽しいひと時でした。

今回のプログラムは、健康体操に始まり色々な音楽・芸能など多彩で大変楽しく堪能させていただき

この機会をいただいて

コスモス会 松崎真希子

第4回のふれあいフェスティバルは、初めての室内開催となりました。そもそも予定していた日が台風と重なり中止となってしまった時には、3月に実施する事になるとは、思ってもいませんでした。3月開催が決まってからは、過去に行ったふれあいフェスティバルの反省を踏まえ、参加いただける皆さんに楽しんでいただけて、これまでに支援して下さった皆さんにも感謝の意を伝えつつ、今の私達を見ていただける様、より良い機会になる事を願って何

大勢の人達が感動し絆を深めあい大声で談笑していました。私も健康スクエアステップに挑戦しましたが何とか合格することが出来ました。その他のブースでも、農産物・装飾小物などの物販や、10階の相談コーナー等と盛り沢山で楽しみ・お話しが出来ました。

何と言ってもクライマックスはトリを飾った『ふたば音頭・東京音頭』の盛り上がりでした。

今回、私どもかながわ東北ふるさと・つなぐ会からの参加は28名で自力直行組とバス便で参加させていただきましたが、バス組は普段見なれない車窓の景観に興奮気味で笑いとおおいに盛り上がり、特に帰りの靖国神社・皇居・国会議事堂などに多くのガイドさん誕生で大笑いでした。

皆さんから来年もよろしくお願いたしますとのことでした。

ありがとうございました。(拝)

支援団体の方々、スタッフの皆さんおよび避難者が一体となれた最高のフェスティバルでした。手伝いもせず皆様のご厚情に深く感謝いたします。

度も何度も会議を重ね、意見を交換して来ました。用意した席もお互いに声をかけあいながら譲り合っていた様ですし、とても良かったです。

屋外とは違って限られたスペースの中での開催となりましたが、だからこそ会場全体を見渡す事が出来、距離が近い分、色々な方と接する機会が多かった様に思いました。

この会の為に、ご尽力下さった皆様には、感謝しかありません。本当にありがとうございました。



ブースには避難されている方、支援者、多くの方が集まり野菜や手作り品などを購入していた。



毎年恒例となっている、双葉町埼玉自治会の「ふたば音頭」。

第4回 〈ふれあいフェスティバル〉

青空会 山田栄子

今回もフェスティバル専属司会の木幡さんの名司会で、「第4回ふれあいフェスティバル」が飯田橋セントラルプラザで華々しく開催されました。

過去3回の屋外の自然の中とは違った趣きの中で、運営委員長である“まほろば会”の後藤さんの心境を交えたご挨拶で、幕を開ける事が出来ました。

12階の会場は支援団体、スタッフ、ボランティアの方々に依り朝早くから会場作りをして下さり、いつもながら感謝の心でいっぱいです。ありがとうございます。

いつもの広い自然の中での公園も良いけれど、今回の様に広さなどには限界がありましたが、その中でステージスペースやブースの配置等、会場作りの皆様のお心配りに依りまして、無駄なく隣のテーブルとの間隔も、あまり離れていなかったのも、他

のテーブルの方々とも話が盛り上がったり、交流と絆が持て、帰り際には、“ジャー、又ね”と言うような約束なども持つことが出来、大変有意義なフェスティバルでした。

ブースも恒例の双葉町埼玉自治会の皆様の丹精込めた新鮮でおいしい、お野菜、おこわ、おもち等、いつも皆、楽しみにしております。今後共、宜しくお願い致します。

ステージブースも演目の充実、全演目、全員が一体となつてとても良かったと思います。震災から丸8年、まだまだ多くの不安、また山積の問題を抱えた被災者に温かい手を差し伸べて下さり、安堵の心を持たせていただき、支援団体の方々、ボランティアの方々、スタッフの方々には深く深く感謝申し上げます。素晴らしいフェスティバル、本当に有難うございました。

ふれあいフェスティバル

東雲の会 二俣公子

去年、台風の影響で残念ながら中止になりましたが、3月に開催していただけたということで、色々なお手配等々ありがとうございました。今回、南相馬などの地域が住宅提供終了にあたって、引越し前でしたが、良い思い出になりました。という声がありました。

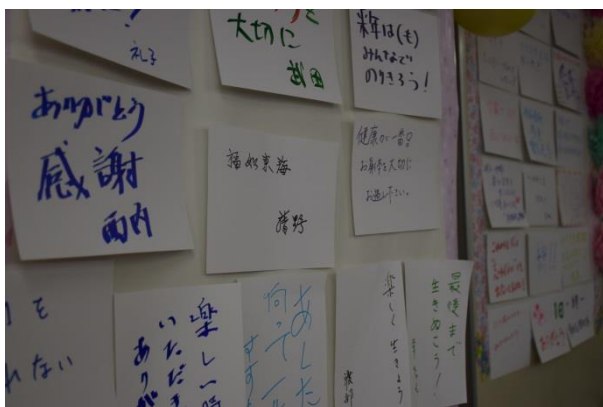
毎年恒例になり、普段会えない人と近況を話したり、これからの事を話したりと、とても有意義に過

ごすことができました。

やはり、女性は買い物に目が無く、いつも新鮮で美味しい野菜や漬物、手作りのバッグなどテンションが上がります。

来年の3月には、浪江町富岡町などが住宅提供終了になるので、もっと住まいがバラバラになるかと思えます。

人と繋がっていくという点でも、ふれあいフェスティバルの開催は、足を運べるとも素敵なイベントだと思います。これからもよろしく願いいたします。



ふれあいフェスティバルのメッセージボード。避難者、支援者問わず、多くの方にメッセージを頂くことができました。



実行委員会のメンバーによる「エビカニクス」。子どもだけでなく大人も大盛り上がりでした。

ふれあいフェスティバルに参加して

感じたこと・思うこと・考えさせられたこと

ふるさとを想う会 代表 木幡四郎

まず、受付から戸惑うことが有り名札を渡す件、名札に入れる弁当引換券、弁当のお渡しの時点での戸惑いなどが有り、今回はその担当が決めかねていた、細かい打ち合わせがなくお任せしていたことが原因ではないかと思えます。

又、音響関係のハウリングを起こしマイクの使用が何本かできず、後部の方には歌が届かない音楽が届かないなどのトラブルなどが有り各客席から苦情の様な意見が沢山出ておりました。

今回は、何時もの事だからと思いが少し甘かったかと感じております。

8年たっても復興の道が閉ざされたままの中、悩んでいます。そんな皆さんの間では、避難先に永住する方、永住先をこれから考える方、ふるさとに戻らない方等の考え方を持つ方達が多くありました。

このまま、こちらでコミュニティの場所を提供して戴ければ参加したいです。やはりこのふれあいフェスティバルに皆さん心の癒しの場であり前向きに考えられる場所でもあり馴染んできている方、又、参加したいですねと言う方ともう最後だと思っ

て参加した「もういいんじゃない」と言う方の意見もありました。

食べ物の中で皆んなで食べるとふるさとを思い出します。お弁当も美味しかったけど、お茶コーナーも設置して戴き大変な気配りでした。ポップコーンが一番美味しかった。各ブース、テーブルでも言っておりました。

10階と12階会場の設置についても少し無理があったかと思いました。高層エレベーター、低層エレベーターの乗り換え利用のやや不便さもあり、特に高齢者の方々には、面倒に思えたかもしれません。

10階の相談コーナー医療ソーシャルワーカーの窓口には8組ほどの相談があったそうです。各ブースにも相談者が居たそうです。何かとまだまだ不安な生活を送っている方が多く感じられ、もう少し皆さんの具体的な悩みを聞き、意見交換をし、今後の新たな明るい生活づくりの力になれるような情報提供をしてまいりたいと思えます。

最後に、参加者の皆さんが連絡会「支援者」と実行委員の方々にお礼を言うておいてくださいとのことでした「有難うございました、次回も期待しております」



南京玉すだれ白戸流（しらとりゆ）「お江戸隊」による南京玉すだれ。



避難者支援に関するさまざまな情報をお知らせするコーナーを設置しました。

双葉町の今

双葉町埼玉自治会 西内重夫

原発事故により避難を強いられて早いもので 8 年の歳月が流れてしまいました。

先の全く見えない中で、昨年、双葉町は特定復興再生拠点構想の指定を受け、2022 年の常磐線全線開通に向けて双葉駅を改築し、駅を中心に街中 50ha の面積について避難指示解除を目指して、除染やインフラ整備に一步步進んでいます。

又、津波が襲来した浜野両竹地区には、東日本大震災・原子力アーカイブ拠点施設や記念公園が設置され、町民の心の拠り所施設として建設されます。郡山、細谷、下条の 50ha の土地に、ものすごい勢いで建設されています。

見上げるほどの汚染袋の山、建物施設にただただ驚愕の思いで眺めています。

これらの事業から外れた広範囲の帰還困難区域は汚染線量の数値が高く、何時から除染し、解除されるのか全く見通しが立たないのが現状です。この

現実に只々…。

双葉町の現状はまだまだ見通しが立たない厳しい面もありますが、ここに避難者と支援者によるふれあいフェスティバルが開催され、多くの町民が参加させて頂きました。

開催にあたり多くの後援協力があり、盛会に開催できた事とてもうれしく思います。

実行委員によるエビカニクスでは場を盛り上げて頂き、又素敵な音色のハンドベル演奏やとても面白かった南京玉すだれ等、楽しい時間を過ごす事が出来ました。最後に東京音頭とふたば音頭アンコールで会場全員で大きな輪になって踊る事が出来、人と人の大きな絆が出来た事と思います。

今回は室内での開催であり、同じ問題をかかえた町外、町内問わず、同じテーブルを囲んで問題提起され忌憚のない本音で話し合いが出来た事はとても意義あるフェスティバルであったと思います。お世話になり、有難うございました。

2019 年度ふれあいフェスティバル

NPO 法人とみおか子ども未来ネットワーク
市村高志

今回の「ふれあいフェスティバル」は 9 月に予定した振り替えとして、屋内での実施でした。当初の計画とは大幅に変更しての開催となり、規模感では、縮小したように感じました。加えて、開催が 3 月 17 日という年度が押し迫っている点、3 1 1 のイベントも各地において多数開催している点など、開催する時期においては、参加者を見込むことが厳しいと思われました。現に参加者は減少したものの、会場の狭さもあって、大いに賑わいを感じることができたものです。私は受付スタッフとして参加したのですが、そこでは必ず、参加者が通っていただくために、顔み知りの方と話をする機会も多かったです。関東各地から参加するイベントとしては規模的に大きなものであることから、普段はお会いすることができない方々にとっては、重要な機会であ

ったと思います。

他方で私は段取りから参加することが出来なかったため、どのように行うのか、他のボランティア受付スタッフの方と手探りで行っていました。慌ただしくしながらも、協力しながら対応することができたことは、良かったと感じましたが、本来の意味においては「協働」という観点からすれば、当日には場当たりのではなく、時間的な余裕をもって行えれば、支援者と当事者の方とで、協議ができたと思います。支援者として、当事者としてという、立場を理解したうえで、「協働」した経験が「ふれあいフェスティバル」の潜在的な効果なのではないかと思いました。このような機会を重ねることの重要性を感じることができた時間となりました。

準備から当日の運営まで、携わった皆様、本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。また、このような機会に恵まれますように願っております。

送迎バスの実施 バスがあったことで広域での交流が広がりました

今回の第4回「避難者と支援者による ふれあいフェスティバル」では、5台のバスをチャーターしました。広域で交流するのにバスは必須です。都内の電車事情に詳しくない方や自家用車を持っていない方も多く、こうした送迎バスによって多くの方にご参加頂くことができました。

特に、今回は他県の避難者にも多く参加頂けるよう、山梨、千葉、埼玉、茨城の各県からもバスの送迎を実施しました（茨城県からのバスの運行は今年が初めてです）。

No	ルート名	ルート
1	山梨ルート	山梨県甲府市労農福祉センター ⇄ 飯田橋
2	加須ルート	埼玉県加須市 ⇄ 飯田橋
3	茨城ルート	茨城学院大学 ⇄ つくば市役所 ⇄ 飯田橋
4	横浜ルート	横浜駅 ⇄ 飯田橋
5	西東京ルート	西東京郵便局前 ⇄ 飯田橋

実行委員会 みんなで企画を作るため準備会含め 15 回の実行委員会を開催しました

このふれあいフェスティバルは、都内や近県で活動している避難当事者の団体と広域避難者支援連絡会 i n 東京に参加している支援団体で実行委員会を設けて、企画・運営に取り組みました。

4 月から実行委員会を正式に立ち上げ企画検討を始めました。ふれあいフェスティバル実施後の 3 月まで計 15 回実施しました。



実行委員会の様子



ご協力いただいた皆さま 様々なご協力ありがとうございました

コープみらい／パルシステム東京／東都生活協同組合／生活クラブ生活協同組合・東京／東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）／NPO 法人 かながわ避難者と共にあゆむ会／埼玉広域避難者支援センター／ふうあいネット／東日本大震災・山梨県内避難者と支援者を結ぶ会／ちば市民活動・市民事業サポートクラブ／浪江町生活支援課・浪江町復興支援員／双葉町復興支援員／東京 YWCA／コープ災害ボランティアネットワーク／フォトボイス・プロジェクト／宮城県東京事務所／福島県避難者支援課／東京都／岩手県／東京しごとセンター／東京都医療社会事業協会／臨床心理士／南京玉すだれ白戸流「お江戸隊」／ボランティアグループSV板橋／はなみずき婦人学級／東京都社会福祉協議会／西東京市社会福祉協議会／小金井市社会福祉協議会／武蔵野市民社会福祉協議会／小平市社会福祉協議会／東村山市社会福祉協議会／東久留米市社会福祉協議会／新宿区社会福祉協議会／江東区社会福祉協議会／品川区社会福祉協議会／世田谷区社会福祉協議会／中野区社会福祉協議会／豊島区民社会福祉協議会／板橋区社会福祉協議会／練馬区社会福祉協議会／足立区社会福祉協議会／立川市社会福祉協議会／町田市社会福祉協議会／その他 多くの個人の皆さま そして参加して下さった 275 名の皆さま

会計報告 たくさんの方々から応援をいただきました

収入	決算額 (A)	予算額 (B)	差額 (B-A)	備考
助成金	¥2,161,084	¥2,885,000	¥723,916	タケダ・赤い羽根支援プログラム助成金、東京都共同募金会、真如苑
支援金	¥1,091,858	¥760,000	-¥331,858	全労済、中央ろうきん社会貢献基金、金光教首都圏災害ボランティア支援機構、TVAC、東都生協、災害復興まちづくり支援機構、生活クラブ生協・東京、コープみらい、パルシステム東京、東京労働者福祉協議会、西東京市社会福祉協議会、フォトボイスプロジェクト
総収入	¥3,252,942	¥3,645,000	¥392,058	
支出	決算額 (A)	予算額 (B)	差額 (B-A)	備考
謝金	¥20,000	¥100,000	¥80,000	運転手謝金
旅費	¥824,838	¥1,300,000	¥475,162	バス借用代等
会議費	¥274,710	¥90,000	-¥184,710	実行委員会 開催費
印刷製本費	¥387,476	¥240,000	-¥147,476	チラシ、報告書作成費
業務委託費	¥1,299,724	¥1,800,000	¥500,276	会場設営代等
物品購入費	¥426,206	¥100,000	-¥326,206	報告書作成費
予備費	¥19,988	¥5,000	-¥14,988	振込手数料等
雑費	¥0	¥10,000	¥10,000	
総支出	¥3,252,942	¥3,645,000	¥392,058	

※会計報告には 9 月に実施予定であった分のキャンセル代等を含みます。



タケダ・赤い羽根
**広域避難者
 支援プログラム**

※この事業は、タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム、東京都共同募金会、真如苑「Shinjo プロジェクト」の助成金、中央ろうきん社会貢献基金、全労済、金光教首都圏災害ボランティア支援機構等の支援金を受け実施しました。